

トグル®実績の紹介（新川二丁目ビル新築工事）

今回は、新築でトグルを採用された、テナントビルをご紹介します。

こまめに修繕・改修をされていたものの、昨年3月の東日本大震災と旧耐震ビルということから建替に至った、新川二丁目ビル様です。

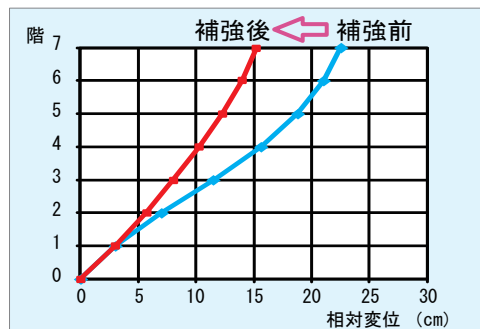
建替計画の経緯

昨年の東日本大震災で、築40年のオフィスビルに不安を感じ、旧耐震のビルではテナント付けが難しいため建替を決断した。

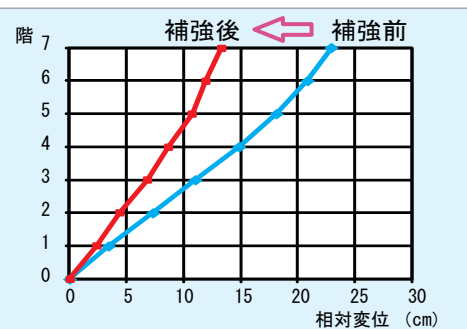
免震構造も検討したが、都心部での計画地の制約があり、制震構造を採用。トグルに関しては過去、耐震改修の提案を受けていたこともあり、最も有効な制震装置として高く評価された。

所在地	東京都中央区
契約工期	平成24年6月～25年2月
構造・階数	S造・地上7階
延床面積	1,207㎡
CM・監理	元・建築マネジメント(株)
構造設計	飛島建設(株)
施工	飛島建設(株)

相対変位（告示波海溝型地震）



長辺方向



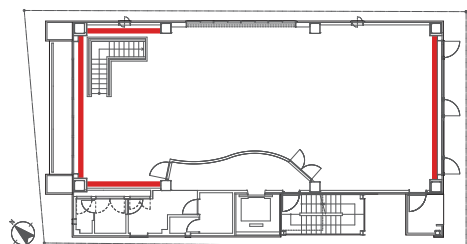
短辺方向

トグル基数：18基・内付け

500kNタイプ	×6基	6F：2枠 4F：2枠 2F：2枠
500kNタイプ	×6基	4F：2枠 3F：2枠 2F：2枠

補強前後の揺れ幅比較

	トグル基数	最大軽減数
長辺方向	6基	約7.2cm (32%)
短辺方向	12基	約9.5cm (41%)



トグル制震装置 2F 平面図

オーナーの声

今、テナントが求めるオフィスビルは、単なる新耐震ビルではなく、大地震に襲われた後も、事業を継続することができる建物です。

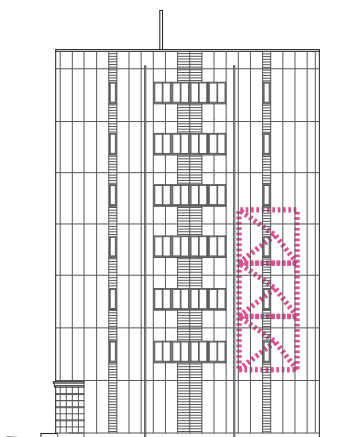
鉄骨造で経済的な新耐震ビルを計画し、これに制震装置をつけることで、書庫や事務機器が倒れにくい制振建物にしたいと思い、検討を重ねた結果、トグル制震を採用し、更にはトグル制震に最も適した建物の構造を飛島建設さんに設計していただくことにしました。

敢えて事務室内に露出させた「魅（み）せるトグル」と、日本のトップブランドである日立製作所（日立 AMS）のオイルダンパーが、そこで働く人々に安心感を与えてくれることを期待しています。

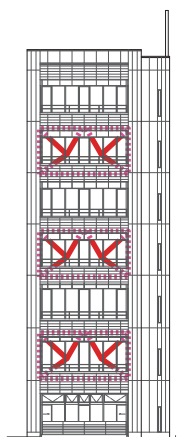
専門工事各社の英知を結集させるコンストラクションマネジメント（CM）方式による契約をお願いし、順調に工事が進んでいます。



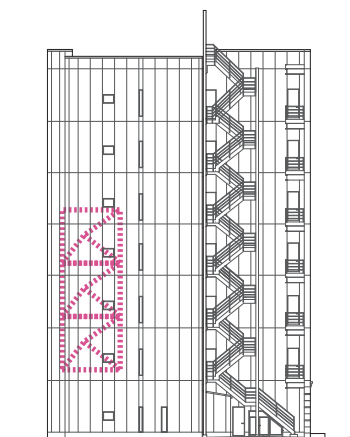
完成イメージ



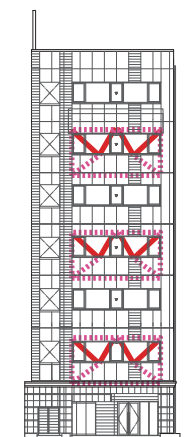
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図